

## 船舶事故調査報告書

平成29年5月25日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）  
 委員 小須田 敏  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	被引浮体搭乗者負傷
発生日時	平成28年7月31日 10時46分ごろ
発生場所	和歌山県白浜町五色ヶ浜沖 <small>ばんしよはな</small> 番所鼻灯台から真方位137° 4.1海里付近 （概位 北緯33° 38.6′ 東経135° 23.4′）
事故の概要	水上オートバイサンテックスⅡは、浮体をえい航して遊走中、浮体が錨泊中の他の水上オートバイに衝突し、浮体の搭乗者2人が負傷した。
事故調査の経過	平成28年8月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ サンテックスⅡ、0.1トン 252-26548大阪、有限会社サンテックス 2.66m (Lr) × 1.07m × 0.40m、FRP ガソリン機関、112kW、平成25年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 32歳 特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成24年5月18日 免許証交付日 平成24年5月18日 （平成29年5月17日まで有効） 搭乗者A 男性 年齢不詳
死傷者等	重傷 1人（搭乗者A）、軽傷 1人（搭乗者B）
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.1～0.5m
事故の経過	本船は、五色ヶ浜沖において、船長が1人で乗り組み、‘知人である搭乗者A、1人の知人（以下「搭乗者B」という。）及びもう1人の知人を乗せた浮体’（以下「本件浮体」という。）をえい航し、遊走した。 本船は、遊走中、本件浮体が波打ち際に錨泊中の無人であった水上オートバイに衝突し、搭乗者2人が負傷した。 搭乗者Aは、救急車で病院に搬送され、骨盤骨折と診断されて入院

	<p>した。</p> <p>搭乗者Bは、救急車で病院に搬送され、後頭部挫創<sup>きそそう</sup>と診断された。  (付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	船長及び3人の搭乗者は、救命胴衣を着用していた。
<b>分析</b> 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、五色ヶ浜沖において、本件浮体をえい航して遊走中、本件浮体が錨泊中の水上オートバイに衝突したことから、本件浮体の搭乗者2人が負傷したものと考えられるが、船長及び搭乗者から十分な情報が得られなかったことから、衝突及び搭乗者2人が負傷するに至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<b>原因</b>	<p>本事故は、五色ヶ浜沖において、本船が本件浮体をえい航して遊走中、本件浮体が錨泊中の水上オートバイに衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<b>参考</b>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船長は、浮体等をえい航する際、周囲の障害物の状況を確認した上で行い、浮体等の動きを常に把握しておくこと。</li> <li>・ えい航される浮体等の搭乗者は、頭部保護用具を装着することが望ましい。</li> </ul>

付図1 事故発生場所概略図

